



第79回 秦野 たばこ祭

炎が舞い 光が奏でる

令和8年 9月26日・27日

絆ステージ 27日 17:15~


松尾 雄史


原田 悠里


藤崎 詩乃

はだのふるさと大使が各種行事に参加!


吉田 栄作
27日 16:15~
はだのふるさとステージ


加藤 優
26日 13:10~ オープニングリード
16:00~ ショッピングコンテスト

はだのブランドアンバサダー


立石 純子
26日 13:10~
オープニングリード

※主催者及び出演者の都合により、出演者や時間が変更になる場合があります。

秦野たばこ物語 ~葉煙草耕作と秦野たばこ祭~

第1回秦野たばこ祭は、昭和23(1948)年に、神奈川県たばこ耕作連合会の主催、秦野商工会議所の共催、秦野町たばこ祭委員会と神奈川新聞社の後援で開催されました。この年は、県たばこ耕作連合会の創立25周年にあたり、記念事業として耕作者を慰労する目的で祭りが企画され、10月1日、2日に秦野専売支局(現在のイオン秦野ショッピングセンター)の敷地内で実施されました。



たばこ葉の収穫

秦野専売支局の前身にあたる秦野葉煙草専売所は、明治31(1898)年1月1日、葉煙草専売法の施行と同時に開設されました。これにより、葉煙草農家が葉煙草の納付のために秦野の町を訪れるようになり、四ツ角周辺の店は賑わいを見せるようになります。また、明治38(1905)年2月には、専売所の敷地内に秦野煙草製造所も開設されました。イオン秦野ショッピングセンターにある「くすの木広場」のクスノキは、この製造所が開設された記念に植樹されたものです。

秦野の経済発展を支えてきた葉煙草耕作でしたが、戦後になると産業構造の変化から耕作面積・耕作者数共に減り続け、昭和59(1984)年、秦野における葉煙草耕作は幕を下ろすことになります。それに続くように、専売公社民営化後の日本たばこ産業株式会社秦野工場は、昭和63(1988)年に閉鎖されました。

このような流れを受け、「秦野たばこ祭」の存続について検討が行われることとなりますが、検討の結果、市民参加型の祭りとして存続することが決定されました。こうして、秦野たばこ祭は、観光行事として、市民の祭りとして、そしてかつての葉煙草耕作の歴史を後世に伝える行事として、今日まで回を重ねているのです。

生涯学習課

ごあいさつ

丹沢から吹く風も日に日に爽やかさを増し、秦野盆地にも秋の気配が感じられるようになりました。

本市最大の観光イベントである「第79回秦野たばこ祭」が、市民の皆様をはじめ、多くの事業所や関係機関の皆様の温かいご協力とご協賛をいただき、開催できますことを心からお礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれた本市は、江戸時代から葉たばこの名産地として知られ、「秦野葉」は優れた栽培技術で日本三大銘葉の一つに数えられました。本市の発展に大きな役割を果たしてきた「葉たばこ耕作」は、昭和59年に300年余の長い歴史に幕を閉じましたが、先人たちが注いだ情熱は、人が変わり時代が流れても、変わらず私たち秦野市民の心に脈々と受け継がれています。

先人たちの情熱の火は、今年も「秦野たばこ祭」の炎となって燃え上がり、松明やらんたんの灯り、そしてフィナーレを飾る大輪の花火となつて、秦野の宵の街を鮮やかに彩ります。

79回目を迎える今年は、「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」や「たばこ音頭パレード」といった伝統行事をはじめ、趣向を凝らした多彩な催しをご用意しております。

秦野市民が主役となり、子どもから大人まで、参加する方もご覧になる方も心から楽しめる魅力あふれる祭りにしてまいります。

「炎が舞い 光が奏でる 秦野たばこ祭」
多くの皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。



秦野たばこ祭実行委員会会長 **秦野市長 高橋昌和**

主催：秦野たばこ祭実行委員会 ☎0463-82-5111
<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/>

後援：神奈川県・(公社)神奈川観光協会・日本たばこ産業・小田急電鉄・神奈川中央交通圏・東海大学・上智大学短期大学部・秦野市自治会連合会・秦野市商店会連合会・秦野市西商店会連合会・秦野商工会議所・(一社)秦野市観光協会・秦野市